

学校評価特集号NO1

にこにこ笑顔いっぱい
 きらきら夢いっぱい
 すくすく元気いっぱい
 ふるさと美咲野だ～いすき！

H30年4月、「子どもたち、職員、保護者の皆さんで目標とする島に向かって漕いでいき、地域の方々の追い風を受けて進んでいく」というイメージで頑張っていきたい旨、お伝えしました。子どもたちも、保護者の皆さんも、職員も、「美咲野小でよかったあ！」と思える学校にしていかなければと、この3年間ずっと思い続けてきました。このことをまずお伝えして、学校評価アンケートの分析をこの美咲野小便りでしていきたいと思えます。「職員の声」はアンケート結果を見て考えた対策などです。「保護者の声」は一部表現を変えているところがあります。ご了承ください。

あいさつ にこにこ 笑顔いっぱい



美咲野小のキーワード

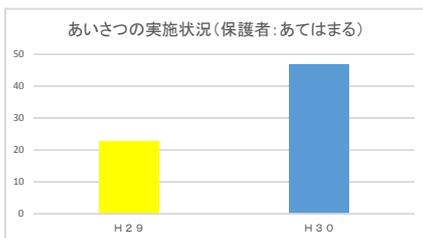
美咲野小で
よかったあ！



美咲野小だより

3月

NO.15
 H31.3.14
 大津町立
 美咲野小学校
 文責：草場ルミ子

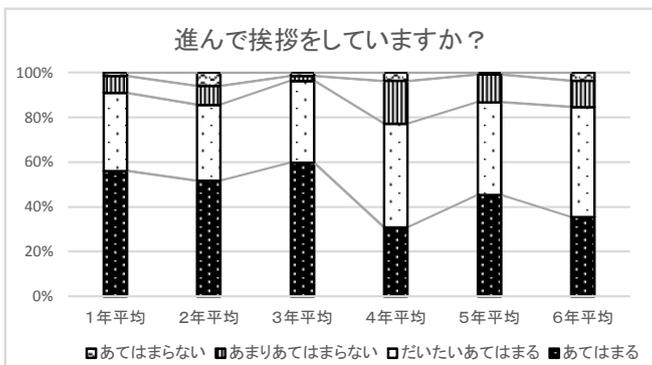


上のグラフは、「子どもは、自分から進んで、気持ちの良いあいさつをしている」の問いに対し「A:あてはまる」と回答した保護者の割合を H29 年度と H30 年度で比較したものです。H29 年度の約 20% に対して H30 年度は 40% 強に増えています。保護者の皆さんも意識をして下さっているのだと分かります。

保護者の声

- 学校でのあいさつはよくできているというのですが、旗当番の際、こちらからあいさつしても返してくる子どもが少ないのが本当に残念です。
- 旗振りの時、先生がいない時は、あいさつをしない子が多い。
- 登校班によっては、暗いなあと心配になる班がある。子どもの見本になるような大人でいたいと思う。
- あいさつ日本一は学校内、先生の前だけであるのが残念。

H29 年度の約 20% に対して H30 年度は 40% 強に増えています。保護者の皆さんも意識をして下さっているのだと分かります。しかし、記述欄には上記のような意見もありました。学校から遠いところほどしないとか、家に遊びに来たときなどのあいさつしないなども実際に聞こえてきます。



左のグラフは、同じ問いに対して、子どもがどう答えたかを学年別に見たものです。学年によって差があるのは気になるところです。ここには示していませんが、

職員の意識は昨年よりも上がっていました。大人も子どもも、意識をもっともっと高くしていかなばと思います。そのために、職員は具体的に下のようなことを考えています。

職員の声

- 生活安全委員会や児童会の子どもたちのあいさつ運動を継続する。
- 低学年の自主的な取組を継続する。
- 職員が、もっともっと大きな声であいさつをしましょう。



学期末、児童会の子どもたちが、登校時の正門前で、あいさつ運動をしてくれています。毎週木曜日には、2年生のあいさつレンジャーが、児童玄関であいさつ運動をしてくれています。3年2組には、1年生を誘って、1年教室前であいさつ運動を自主的にしてくれている子どもたちもいます。

確かに、あいさつは、個人差がとて大きい。正門前で、私が、顔を見て「おはよう」といっても、頭をちよっとだけ下げても、口がちよっと「おはようございます」と動くだけの子だっています。「ええっ！」と思うけど、そんなこと、目くじら立てても仕方ないし、腹が立つかもしれませんが、大人があきらめに、目くじら立ててもダメだと思えます。腹が立つかもしれませんが、どうぞ長い目で見てくださいな。そして、ずっとあいさつを続けることで、美咲野は、あいさつ日本一に近づいていくと信じます。

